

ゲノム編集食品って何？

■日時 2023年12月2日(土) 14:00~15:30

■場所 神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス (第2キャンパス)
 ※今回のみ開催場所を変更しております。

■講師 兵庫医科大学 医学部 遺伝学

教授 大村谷 昌樹

- 受付 13:30~
- 講演 14:00~15:30
- 健康相談 15:30~17:00 (※事前申し込み優先)
 ※講演テーマ・薬一般・血圧についてのご相談をお受けいたします。

参加費
無料

血圧が下がるトマトや、毒をつくらないジャガイモ、肉厚マダイなど「ゲノム編集」技術(2020年ノーベル賞)で開発した食品(ゲノム編集食品)の販売が日本でも始まろうとしています。

そもそもゲノム編集とは何か？

これを知るためにはDNAや遺伝子に関する基本的な知識が不可欠です。

この公開講座ではDNA、遺伝子に関する基礎から始まり、ゲノム編集食品について、さらに遺伝子組換え食品との違いについて分かりやすく解説します。



【お申し込み】

お電話・FAX・メールで下記までお申し込みください。

〒650-8530 神戸市中央区港島1-3-6

兵庫医科大学 神戸キャンパス (地域連携担当)

TEL: 078-304-3111

FAX: 078-304-2713

メール chi-ki@ml.hyo-med.ac.jp

*参加証は発行いたしません。当日直接会場にお越しください。

*駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

*神戸学院大学 神戸キャンパス 第2キャンパスへのアクセス

(兵庫医科大学 神戸キャンパス すぐ横)

ポートライナー「三宮」駅より

「みなとじま」駅下車西へ徒歩約10分

兵庫医科大学での開催ではありませんので、ご注意ください。!



ゲノム編集食品って何？



兵庫医科大学 医学部
遺伝学 教授 大村谷 昌樹

私たちヒトを構成する細胞（約37兆個）の核には遺伝情報を伝えるDNAが含まれています。DNAは糖+リン酸+塩基（A、T、G、Cの4種類）から構成され、父方から31億個、母方から同じく31億個の計62億個（塩基対と呼ばれます）の塩基を受け継いでいます。新聞の朝刊の文字数が約20万字ですから、大体100年分に相当します。62億塩基対の配列はヒトの中で全く同じではなく、約0.1%違うとされています。この違いが多様性、つまり、肌の色や身長、顔かたちだけでなく、病気のなりやすさなどの違いを生み出すのです。

人類はこれまでに、さまざまな農作物、家畜、魚の品種改良を、偶然に生じるDNAの配列（A、T、G、C）の変化と、交配によって、美味しい、たくさんとれる、暑さ寒さに強い、などの品種改良を数千年かけて行ってきました。

本日説明するゲノム編集技術は、DNAを自由に書き換えることで、短期間に品種改良を行える技術です。では、一足先に登場した遺伝子組換え食品とは何が違うのでしょうか？ また、両者ともに安全なのでしょうか？

本日の公開講座ではDNAや染色体、遺伝子組換え技術、ゲノム編集技術など、できるだけ分かりやすく解説していきます。



次回の予定：2024年春 薬学部 兵庫医科大学 神戸キャンパスにて開催予定

ポアイ4大学による連携事業
12月2日公開講座
「ゲノム編集食品って何？」
参加申込用紙

メールの方は
こちらから
お申込みください。



ふりがな		性別
お名前		男性 ・ 女性
連絡先電話番号	()	

(FAX送信先 078-304-2713)